

暮らしの場や養育者が**かわる前**にやるべきこと

	I	II	III	IV	V	VI	VII
	子どもとの共感・気持ちの理解	子どもの意見表明の尊重	子どもへの説明・伝達・情報提供 子どもが見通しを持てるように	ライフストーリーを大事にする	次の養育者との引きつぎ・伝達共有	子どもとの別れを支える	その他 保護者への説明など
目標	・感性をみがき、子どもの不安な気持ちを理解し、寄り添う ・研さん手帳を利用する	・子どもの意見を聞く機会を保障する	・なるべく早い時期に移行の理由と移行後の情報をきちんと伝える	・つながりのある健やかな育ちを担保する ・育ちアルバムを利用する	・つながりのある育てを共有する ・育てノートを活用する	・つながりを考えたいていねいな別れ方をする ・セレモニー・イベント等をする	
1	子どもの気持ち・考えを傾聴する	意見表明の機会の保障	動機づけ・説明の機会を保障する	これまでの生活を一緒に振り返る	移行先の調査	子どもに対する養育者自身の感情を整理する	保護者(家族)への説明・考えを聞く
2	子どもの不安・怒りの軽減(解消)	移行についての意思・意向	移行の理由・意味の説明をする	思い出を共有する	情報・記録の収集・整理	子どもの気持ちの整理を一緒に行う	他の職員との合意形成
3	好きな人、物、事などの確認	移行後の希望をきく	移行先の情報を説明する	育てノートの作成	自立支援計画を一緒に立てる(伝える)	別れのセレモニーを丁寧に行う	移行先や地域ネットワークの確認と構築
4	移行する意思を一緒に考える	移行後の夢をきく	移行後の不安への対処を説明する	育ちアルバムの作成	子どもの歴史を引き継ぐ	養育者の喪失感を整理する	
5	これまでの経緯をおさらいする	移行後の期待・楽しみ	施設の事情での移行は理由の説明と謝罪をする	ライフストーリーワークを導入する	子どもの強み・良いところを引き継ぐ	子どもの大切な友達との別れを大切に扱う	
6	子どもの今の養育者への思いの確認	移行後の不安・怒り・悲しみ	養育者の思いを説明する		子どもの大切なものを引き継ぐ・伝える		
7	子どもの期待・楽しみの確認	今の居場所への思い	移行前の準備(見学など)		養育者同士の連携を子どもに示す		

※「移行(期)」とは、「措置変更などにより暮らしの場や養育者がかわること(とき)」を指しています。